

ケアネットせとうち通信

笑顔で 長生き できるまち

瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会

柴田会長より ごあいさつ



瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会

邑久医師会 会長 柴田 浩

だれもが安心して生活できる仕組みを
みんなでつくみましょう!!

瀬戸内市の人口における 65 歳以上の高齢者が占める割合は平成 26 年 4 月 1 日現在で 30.7% を迎え、一部の地域では 40% を超えています。この状況は全国平均を大きく上回っており、私たちが日々生活している地域でも急速に高齢化が進んでいると言えます。

このような状況の中、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年（平成 37 年）以降は、地域の医療や介護、福祉サービスに対する需要が更に高まると言われています。このため、国は、2025 年を目途に、誰もが住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで続けることができるよう、地域の医療・介護・福祉の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の仕組みづくりを推進しています。瀬戸内市は、地域包括ケアシステムを推進するにあたり、昨年度より保健福祉部へ

トータルサポートセンター準備室を設置し、在宅医療・福祉・保健のネットワークづくりに取り組んでいます。同時に、邑久医師会、福祉、介護、保健分野の専門職で瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会を立ち上げました。この協議会では、在宅医療・介護等に関する研修会、事例検討会の開催や市民への啓発活動に取り組んでまいります。

瀬戸内市が誰もにとって住みよい地域となり、いきいきと生活する市民が増えるよう皆で協力していきましょう。



瀬戸内市 保健福祉部 トータルサポートセンター準備室

協議会(ケアネットせとうち)を開催しました

～平成26年度 第1回 瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会～

瀬戸内市では、市民のみなさんが可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりに取り組んでいます。

どんな支援やサービスがあれば安心して暮らせるのか、在宅医療・福祉・保健に関わる専門職の連携を深め、共にまちづくりを推進していくため瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会が設置されています。協議会は医師を始めとする医療関係者や障がい者・高齢者福祉事業関係者、保健事業関係者等により構成されています。この協議会を地域のみなさんに身近に感じてもらい、支援の和が広がるようにと願いを込め「ケアネットせとうち」を協議会の愛称としています。

今年度の第1回協議会は、5月27日(火)に開催され、地域の抱えている問題点や課題を共有し合い、これから取り組む事業や研修会等について話し合いました。重点課題として「市民の在宅医療・介護に関する意識を把握する」「在宅医療連携の実態を把握する」「ケアネットせ



とうちの地域ネットワークを強化する」等が挙げられました。これらの課題に取り組むうえで、市民のみなさんと専門職の間で共通の目標を持ちたいと考え、ケアネットせとうちのスローガンを「笑顔で長生きできるまち」としました。



平成26年度「ケアネットせとうち」スローガン

笑顔で 長生きできる まち

病気やケガで健康に不安がある、一人暮らしでいざという時が心配、自分や家族の生活はどうなるんだろうか…誰もが抱える不安や心配ごとを地域に相談できて、どうすれば安心して暮らすことができるのか一緒に考えることができる。そんな助け合いの温かな地域ネットワークをつくるには、市民のみなさんや専門職のみなさんの力が必要です。

瀬戸内市が「笑顔で長生きできるまち」になるよう 私たちにできることから始めてみませんか。



<助け合いの地域ネットワーク イメージ図>



ケア・カフェせとうち OPEN!!



医療・介護・福祉者の交流の場として「ケア・カフェせとうち」を始めました。5月15日(木)のテーマは“看取り”医師、看護師、ケアマネジャー、介護士など103名の専門職が集まり日々の支援の中で困っていること、悩んでいること、気づいたことなど話し合いました。「自分の施設ではこんな看取りをしています」「在宅で看取るには覚悟が必要」など、みなさんの熱い想いを聴くことができました。

次回は あなたも 参加してみませんか!!

第3回 ケア・カフェせとうち 《テーマ》「依存症」
8月21日(木) 18:30～20:15
瀬戸内市総合福祉センターにて

<第4回は秋頃に開催を予定しています>



みんなで スキルアップ しよう!!

～在宅医療多職種連携研修会～



<岡山県精神科医療センター 片山看護師>



<NPO 法人岡山県断酒新生会 岡山東支部 岸田氏>

地域で在宅医療に取り組むために必要なことは何でしょうか? 家に訪問してくれるお医者さんや看護師さん、通所・泊り・入所できる福祉サービスなど。在宅医療を支える専門職が所属する機関・事業所が瀬戸内市内には約140あります。在宅医療に携わる多職種が集まり、疾病や障害について理解を深めることは、よりスムーズな連携や質の高い支援へとつながっていきます。

6月12日(木)「依存症」をテーマに研修会を行いました。岡山県精神科医療センター片山看護師よりアルコール依存症を中心とした講演を、NPO 法人岡山県断酒新生会岡山東支部岸田ご夫妻からは体験談をお話いただきました。

98名の専門職が参加し「依存症の治療、ご本人や家族との関わり方が理解できた。」「体験談を聴き、ご本人の辛さやご家族の苦しさが伝わった。断酒会の必要性が理解できた。」などの感想がありました。

支援を必要としている方と共に考え、地域の中で支援の和が広がっていくよう、今後も在宅医療多職種連携研修会を継続していきたいと思っています。

研修会のお知らせ

瀬戸内市地域包括ケアシステム 全体研修会

《テーマ》『住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために
みんなでつくろう！ 笑顔で長生きできるまち』

第1回 9月25日（木）

基調講演：公立みつぎ総合病院 副院長 沖田光昭 氏

〈公立みつぎ総合病院〉

広島県尾道市御調（みつぎ）町にあり、日本で最初に
「地域包括ケアシステム」を提唱された病院です。

パネルディスカッション：瀬戸内市の医療・福祉・保健専門職の立場から

第2回 11月27日（木）

実践報告テーマ：本人の意思を尊重したターミナルケアを考える
～それぞれの立場から～

地域での看取りケア（終末期ケア等）の現状を
家族・専門職のみなさんから話しいただきます。

【時間】 19：00～20：45

【会場】 ゆめトピア長船

詳細は 別途 ご案内させていただきます。

＜ケアネットせとうち事務局＞

瀬戸内市保健福祉部 トータルサポートセンター準備室
〒701-4246 岡山県瀬戸内市邑久町山田庄 862-1（瀬戸内市総合福祉センター内）
電話：0869-22-3800 FAX：0869-22-3801